

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174600536		
法人名	有限会社 ケアサポートふる郷		
事業所名	ケアサポート・ワンズホーム (1階)		
所在地	帯広市西1条南36丁目1-27		
自己評価作成日	平成28年6月3日	評価結果市町村受理日	平成28年9月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigvovsyoCd=0174600536-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	江別市大麻新町14-9 ナルク江別内
訪問調査日	平成28年7月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者さんの尊厳を重視し、看取り介護に取り組んでいる。 看取り介護の実践により、職員の意識向上、介護の質向上につながっている。
町内会の行事に積極的に参加し、地域との交流を行っている。
敷地内で家庭菜園を行い、旬の食材を提供できるよう心掛けている。 「生きることは食べること」との理念に従い、美味しく食べていただけるよう、料理に力を入れている。
誕生会は、利用者さんの誕生日ごとに、個別に年18回おこなっている。
職員のほとんどが介護福祉士資格を有している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

帯広駅から南に約5k程の静かな住宅街に位置し、近くには清流の札内川があり自然環境に恵まれている。敷地内には石と植木で作られた庭があり利用者にとって心が和み居心地良く過ごせるように工夫されている。利用者は町内会の花見などに参加して交流し、事業所の夏祭りには80名を超える地域住民などが参加し、相互に交流している。又、そば打ちボランティアなども来訪して交流している。地域住民から野菜などの差し入れも頻繁にあり、敷地内の家庭菜園から採れた無農薬の旬の野菜と共に利用者の食材に活用され、食事メニューには料理の写真を入れて美味しく食べられる様工夫している。開設14年目に入るが当初から重度化終末期の看取りを協力医と密接な連携を取り、重度化した場合における対応に関わる指針を家族に説明し、本人・家族の思いを受け、これまで16名看取りまでの支援をしている。利用者はゲームをしたり、カラオケなど、思い思いに日々の生活を過ごしている。ほとんどの職員が介護福祉士の資格を取得し質の高いケアに努めている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に地域とのふれあいを大切にすることも掲げてあり、近所の人たちと交流できる機会もある	理念は廊下と事務所に掲示され、毎朝職員は唱和して理念を共有、実践に向け日々取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的ではないが、町内会行事に利用者さんと参加したりするなど、交流できる機会はある	新年会、花見等の町内会行事に参加して交流している。又、事業所の夏祭りには地域の方々80人を超える参加を得て地域との交流に努めている。ボランティアが来訪している。	地域の保育所、幼稚園、小学校等に呼びかけ、さらに地域との交流を深めることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	具体的には実現していない		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの取り組みなど、さまざまなテーマで話し合い、意見交換し、サービス向上の参考にしている	町内会、地域包括支援センター職員、家族代表、ボランティア代表などが出席し、年6回開催し運営状況、行事などを報告して、意見や助言を得てサービス向上に活かしている。常に推進委員の方々と夕食を共にし2時間程で終了する。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	連携関係は築けている	利用者の状況などの報告、介護保険更新・認定手続きなどで意見交換を行い、帯広市のケア会議のメンバーに選ばれているので新しい情報は常に入り日常的連携は取れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠をしないなど、身体拘束を行わないケアに取り組んでいる	ほとんどの職員が介護福祉士の資格を取得しておりGHの基本理念をしっかりと身につけており日々拘束のないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士、小さなことでも報告しあい、防止に努めている 職員個々に虐待しないよう努めている。虐待疑いの行為があった場合には、互いに声を掛け合える環境づくりが必要		

ケアサポート・ワンズホーム（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について学んだが、実際に支援したことはない 学ぶ機会が少なく、支援はできていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不安や疑問が解消できるよう、平易な言葉で説明を行っており、理解・納得は得られていると思う		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来所の際に、意見・要望を聞き、運営に反映している	利用者の意見・要望は毎日の会話から意向の把握に努め、家族とは、来訪時、運営推進会議参加時に意見、要望を聞いて運営に反映させている。意見箱を設置している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や個人面談を通じ、意見や提案できる機会はある	定例のミーティング、個人面談で日常の思いや気づき、意見や提案を話し合っ運営に反映させている。又、玄関に投書箱を設置し、いつでも職員の意見を聞き取れるようにしている。職員間と管理者の風通しはよい。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の生活に合わせたシフトの調整を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員には研修の機会が多く与えられ、働きながらトレーニングできる環境が用意されている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設見学の機会があり、交流も行われている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者さんが早くホームになれ安心できるよう、コミュニケーションをとって、要望などを聞き取っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族から現状を聞き取り、不安・要望に耳を傾けながら、信頼関係を構築するよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一番必要としている支援を見極め、サービスを提供している 今はないが、デイサービスを利用している利用者さんもいた		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護を提供するのではなく、喜怒哀楽を分かち合えるよう自然体で接することに努めている 利用者さんの立場になり考え、行動し、安心して生活できるように努めている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族も一緒に食事してもらったり、食事介助を経験してもらうなど、利用者さんの状態をわかってもらえるよう関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話連絡や外出など、関係が継続できるよう支援している 利用者さんの意向に沿って外出することもある	理髪、美容院には馴染みの好きな所に職員が同行している。病院の帰りに馴染みの店で買物をするなど、家族を含め馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの様子を観察し、利用者同士の関係を支えられるよう、孤立しないように配慮している 日常生活の中で孤立しない機会が作れるよう、常に意識し心がけている		

ケアサポート・ワンズホーム（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、見舞いに行くなど、培ってきた関係性の継続に努めている 亡くなった利用者さんの家族が、ホームに遊びに来てくれることもある		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションを取りながら、希望・意向が把握できるよう努めている 本人の意向が確認できない場合、日常生活の様子や生活歴などを考慮して介護を提供するようにしている	日々の会話、表情、家族の情報から思いや意向の把握に努め、困難な利用者には様子から思いを汲み取り家族と相談して対処している。利用者本位のケアとなるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴、家族からの情報等を職員全員が把握し、共有できるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員同士が小さなことでも報告しあい、現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、定例のカンファレンスを開催し、サービス実施上の問題点や課題に対する見直し等の検討を行っている	毎月モニタリングし状態の変化に応じて、随時介護計画の見直しを行っている。利用者・家族からの意見や要望を常に聞き取り意向を反映させ、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者ごとに介護記録を作成している。その他、連絡ノートを活用し、情報の共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者さんの状況に合わせ、柔軟な対応を心がけている サービスの多機能化には取り組んでいない		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	歯科、理美容、ボランティアなど、地域の方々に来所してもらっている 地域資源の把握はできていないが、安全で豊かな暮らしは送れていると思う		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診以外にも、かかりつけ医の受診など、適切な医療が提供されている	本人・家族の希望に添ったかかりつけ医に受診できるように支援している。事業所の指定の病院があり緊急時や夜間の対応、看取りを含めて協力体制が出来ている。	

ケアサポート・ワンズホーム（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師であるため、利用者の容体に変化があった場合は報告し、指示を受けて対応している。また、必要に応じ医療機関との連携が図られている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	個人記録の提供など、病院関係者との関係づくりに努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、ご家族、かかりつけ医と話し合い、職場全体で支援に取り組んでいる 当施設では看取りに取り組んでおり、ご家族や主治医などと慎重に協議対応している	契約時、利用者・家族に「重度化した場合における対応に関わる指針」に基づき説明し同意を得ている。開設14年目に入るが、当初から看取りに組み込み、主治医の協力得えて多くの実績を残している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には実施されておらず、実践力は身につけていないと思う 研修など、学ぶ機会はあるが、定期的な訓練は行っていない		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練などを行っている	消防署・消防団の指導協力を得て年に2回火災避難訓練を実施しており近隣住民の協力が得られるよう要請している。常に緊急時に備えて水や食糧、灯油ストーブなどを備蓄している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	慣れの言動については注意するよう指導されている 慣れの対応があり、プライバシーを損ねない言葉かけはできていないと思う	言葉かけに気をつけ、尊厳や誇りを損ねないケアに努めている。研修に参加しており前向きな職員には何らかの形で褒章を行ったりして、人格の尊重とプライバシーを損ねないよう日々心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者本人の生活を基本としており、本人が理解できるようにできる限り分かりやすく話すように注意している 本人の思いを聞き、自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	できるだけ希望に沿えるよう努めているが、職員の都合を優先してしまうことがある 職員の都合で起床介助しないなど、本人の希望に沿って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の天気や利用者さんの様子などを考慮し、利用者さんの意向に沿うよう心掛けている 化粧を楽しんだり、好きな洋服を選んでもらうよう心掛けている		

ケアサポート・ワンズホーム（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者さんの好き嫌いを表に記入し共有している。準備・盛り付け・片付けなど、職員と一緒にやっている	毎週利用者の希望を入れて献立を作成し、能力に応じ職員と一緒に準備、盛り付け、片づけなどを行っている。家庭菜園で採れた無農薬の旬の野菜が食卓を飾り利用者は会話を楽しみながら食事をしている。利用者の希望体調を見ながら外食にも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態を把握し、一人ひとりに合った量、食物形態、水分量等を確保できるよう支援している 水分については、一日を通して確保できるよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一部の利用者さんには口腔ケアが実施できていない。口臭もあるため、口腔ケアの習慣化に取り組んでいる		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを表情、態度などから把握して、適時にさりげなくトイレに誘導し、排泄の自立に繋げている。オムツの利用者「0」を目指し、高齢者が多い中で大半が自立での排泄可能でありその日の体調しぐさ表情を見て誘導している。夜間は睡眠を妨げないように気配りしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	好きな飲み物の提供、定時の水分補給、下剤の調整など行っている 個別の排便コントロールで便秘予防の対応を行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時間についてはできる限り希望に沿えるよう努めている。入浴拒否のある場合は、本人に合った働きかけを行っている 職員の都合になっていることもある	入浴は週2回を基本とし、利用者個々の体調を見ながら無理強いせず柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	様子観察、ケアプラン上の支援を考慮しながら、昼夜逆転とならないよう働きかけ、配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報を確認し、安全な服薬支援を行っている 利用者さん全員を理解できているとは言い難い		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味趣向はそれぞれ異なるが、カラオケやゲーム、散歩、買い物など、生活に変化を持たせるように配慮している		

ケアサポート・ワンズホーム（1階）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や気温を考慮して、近隣への散歩や外出（買い物、山菜取りなど）の支援を行っている	散歩、買物、季節に応じて山菜取りに出かけたり、職員が行けない場合家族に同行してもらい利用者の思いに沿った外出支援を行うように努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全員ではないが、外出先で買い物するなど、できるだけ本人の希望通りにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各利用者さんの能力に応じた配慮をしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地よく過ごせるよう掃除を行うほか、花やひな人形、クリスマスツリーなど、季節に合った飾りつけを行っている	居間は明るく広い間取りとなっており共用スペースは広く開放的で心地良い空間となっている。家庭と同じ雰囲気の居間となるよう配慮され、季節の飾りつけを行って居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間のソファ席は、だいたいどこに誰が座るか決まっているが、声掛けにより孤独感を感じないように配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具、持ち物を配置し、落ち着いた生活ができるように工夫している	使い慣れた整理タンス、仏壇などを持ち込み、写真なども飾られ、毎朝職員と一諸にお供えをしたり、利用者が安心して過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な利用者さんには、分かりやすいようにトイレや居室など、名称を大きく表示している		